

事業所名

Ohana

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		色とりどりに輝く子どもたちの個性 子どもたち一人一人が持つそれぞれの色を それぞれの形で輝かせよう							
支援方針		<支援の3つの柱> ・インクルーシブな環境で育つ ・お子様ひとりひとりの特性や生活に合った支援計画を作成 ・発達の土台となる自己肯定感を育む関わり							
営業時間		・	9 時	0 分から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	個々の発達のペースに合わせて、お子様のできることを定着する支援を行っていきます。 また園と連携し、生活のリズムを崩さないよう、支援プログラムの内容や時間を考慮します。 （主な活動）食育活動、偏食改善、生活習慣プログラム、掃除、防災・防犯訓練 など							
	運動・感覚	幼児期は『運動』『感覚』の発達が旬を迎える時期です。 理学療法士指導の下、子どもの興味や関心のあるものを利用し、感覚遊びや運動遊びを楽しむことで、発達を促すプログラムを提供します。 （主な活動）運動遊び、リトミック、外遊び、感覚統合遊び、微細運動遊び など							
	認知・行動	個々の発達特性に合った支援方法を模索し、好ましい行動を増やし、好ましくない行動を減らすサポートを行っていきます。 また、小学校就学に向けて、数・文字・図形の読み書きを遊びの中で楽しみながら習得していきます。 （主な活動）応用行動分析学（ABA）をもとにした個別活動、視覚的なスケジュール管理 就学前準備プログラム など							
	言語 コミュニケーション	情報をインプットする『見る力』・『聞く力』を伸ばす関わりを強化し、コミュニケーションの基礎を育てていきます。インクルーシブな環境での人との関わりの中で、コミュニケーションに必要なスキルを喜んで習得できるようサポートしていきます。 （主な活動）絵本の読み聞かせ、言語コミュニケーションでの語彙習得、小集団・集団の中での共同活動 など							
	人間関係 社会性	信頼できる大人との関わりを深めながら、人と人との関わりを広げていきます。また、社会に適応する為に必要なスキルを支援します。 （主な活動）ソーシャルスキルトレーニング、小集団・集団の中での共同活動、異年齢児活動 など							
家族支援		園やOhanaでの成長の様子や支援の内容を随時ご報告し、家庭との連携を深めていきます。また、定期的に見学や面談を設け、ご自宅での困りごと等へのアドバイスを行っていきます。				移行支援		保育園や幼稚園との連携や交流を積極的行ったり、進学先の学校情報共有を通して、子どもの発達の状況や生活環境に合わせたより良い支援をご家族の方と考えていきます。	
地域支援・地域連携		医療機関、療育機関、就学先との情報共有や連携を図りながら、お子様の成長を見守っていきます。				職員の質の向上		定期的に外部講師による研修の実施や見学研修を実施し、職員の質の向上を図ります。	
主な行事等		法人が開催する幼稚園・保育園の行事への参加 親子体験会 交流会・勉強会							